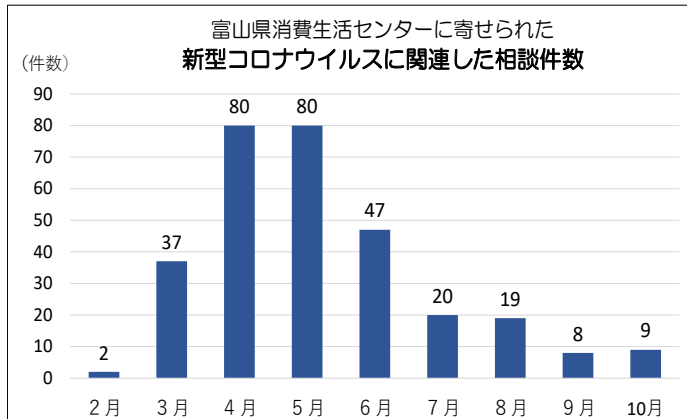


新型コロナウイルス関連の消費生活相談の概要

1 相談件数の推移等

富山県消費生活センターが令和2年2月～10月に受け付けた新型コロナウイルス関連の消費生活相談は302件で、3月以降増加し、4月と5月には各80件の相談が寄せられましたが、6月以降は減少傾向にあります。



(1) 性別

男	女	不明	事業者等	計
127件 (42.1%)	148件 (49.0%)	1件 (0.3%)	26件 (8.6%)	302件 (100.0%)

(2) 年齢

20歳未満	7件 (2.3%)
20歳代	15件 (5.0%)
30歳代	29件 (9.6%)
40歳代	35件 (11.6%)
50歳代	44件 (14.6%)
60歳代	42件 (13.9%)
70歳代以上	61件 (20.2%)
不明	43件 (14.2%)
事業者等	26件 (8.6%)
計	302件 (100.0%)

2 相談の傾向と特徴

(1) マスクに関する相談・・・99件

- ・マスクに関する相談が4月～6月を中心に99件寄せられ、全体の33%を占めています。
- ・相談内容としては、「マスクが買えない」「通販でマスクを注文したが商品が届かない」「注文した覚えのないマスクが届いた」等の相談が多くみられました。

(2) 消毒液、体温計等の感染防止対策用品やトイレットペーパー等に関する相談・・・41件

- ・マスク以外のアルコール消毒液や除菌剤、体温計等の感染防止対策用品に関する相談が、4月～6月を中心に多く寄せられました。
- ・相談内容としては、「ネット通販で商品を注文したが届かない」「注文した覚えのない商品が届いた」「ネット通販で注文したが定期購入とわかり解約したい」「新型コロナウイルスに対する予防効果、性能、安全性等が知りたい」等の相談がみられました。
- ・また、3月にはトイレットペーパーの品不足についての相談が6件寄せられました。

(3) スポーツ・健康教室、文化・教養系教室等に関する相談・・・22件

- ・ヨガ教室などの「スポーツ・健康教室」に関する相談や英会話教室・資格講座・留学などの「文化・教養系教室」等に関する相談が、3月～7月に、30歳代から50歳代を中心に寄せられました。
- ・相談内容としては、「1回だけ利用し休会したが、通常通りの月会費を請求された」「休講になったのに返金がない」など会費等に関する相談や、「退会したら通常通りの違約金を請求された」など解約料等に関する相談がみられました。

(4) 旅行・宿泊関連の相談・・・13件 ※GoToトラベル関係等(5件)除く

- ・国内旅行、海外旅行に伴う航空券や宿泊施設のキャンセル料等に関する相談が、3月から6月に寄せられました。
- ・相談内容としては、「航空券やホテルをキャンセルしたところ規約通りのキャンセル料を請求された」「キャンセルしたのに返金されない」等の相談が多くみられました。

(5) 結婚式関連サービスに関する相談・・・11件

- ・結婚式の延期や中止に伴う結婚式場や貸衣装のキャンセル料等に関する相談が、特に4月に多く寄せられ、その後も8月まで数件の相談がみられました。
- ・相談内容としては、「結婚式場のキャンセルや延期を申し出たところ、規約通りのキャンセル料や手数料を請求された」等の相談が多くみられました。

(6) その他

- ・上記のほか、「休校等に伴う通学定期券の払い戻し」に関するものや、「特別定額給付金や休業等要請協力金、GoToキャンペーン等の国や県の支援制度等」に関するもの、「解雇や休業、収入減等による生活困窮」に関するものなど、様々な相談が寄せられました。